

朝日新聞

2012年(平成24年)
3月4日
日曜日

笑顔で幸せ降り注げ

被災地に写真送るプロジェクト

天神で子どもたちの撮影会

福岡・天神のイムズで3日、東日本大震災の被災地に子どもたちの笑顔の写真を送るための撮影会があった。アートディレクターの水谷孝次さん(60)が無料で撮影し、七夕の時期に被災地に届ける。撮影会は5、6日もある。



「こっぴりー! こっぴりー!」と話しかけながら、子供の笑顔撮影する水谷孝次さん

会場は笑顔と笑い声にあふれた。水谷さんが言葉をかけながら、子どもたちを跳びはねさせるなどして撮影。子どもたちは声を上げながら自然な表情を見せていた。小郡市の小学3年磯野喜愛さん(8)は「写真を撮るときに笑わせてくれたので、おもしろかった。これで東北の人が一人でも元気になるとうれしいです」と話していた。

水谷さんは1999年、笑顔は世界共通のコミュニケーション、を合言葉に世界中の笑顔撮影する「メリー・プロジェクト」を始めた。大津波のあったインドネシア・スマトラ島など今まで世界26の国と地域で



被災地の子供たちの笑顔がプリントされた傘。4月3日からイムズで展示される＝いずれも福岡・天神

3万人以上の笑顔撮影。

東日本大震災の後は、被害の大きかった沿岸部を中心に約5000人の笑顔を撮り続けてきた。水谷さんは「困難に立ち向かう人の笑顔は強くて美しい。笑顔は幸せを呼ぶ。福岡から笑顔を発信して日本を元気にしたい」。福岡を皮切りに、全国での撮影会を予定して

いるという。

4日には被災地の子供の笑顔が大きくプリントされた傘をさして福岡・天神を練り歩くイベントも予定。4月3日～5月6日には、イムズで笑顔の傘や撮影会のパネル写真を展示する。問い合わせは、イムズ(092・7333・2016)へ。(井口恵理)